17言葉の常備薬（呉 智英）

―銃声、飛行機の爆音、足音……マンガには擬音表現が多用される。……

　無音を表す「シーン」という擬音も、日本のマンガ特有の表現である。で村人が死に［　Ⅰ　］えた村、誰もいない神秘的な湖、こんな場面で「シーン」が使われる。これは外国語に翻訳できない。そもそも、無音の擬音というのが、無の存在と同じくらい［　Ⅱ　］なのである。

　この「シーン」は、我々は当たり前に思っているけれど、そもそも何なのだろう。

　辞書には「しん」で出ている。これが強調などのため［　Ⅲ　］したのが「しーん」である。それなら元の形の「しん」は擬音語もしくは擬態語なのだろうか。我々は既にマンガの「シーン」を知ってしまっているので、「しん」も擬音語か擬態語だと思いがちだが、①どうもそうではないようだ。

　『大言海』では、「」ではないかと推測している。確かに、「深山幽谷」（人里離れた山や谷）という言葉があるし、は戦で荒れ果てた国を「深し」（草や木がい茂るばかりだ）とった。「」には、の絶えた静けさが感じられる。

問１　［　］Ⅰに入る漢字一字を文中から抜き出して答えよ。

〔　 　〕

問２　［　］Ⅱに入ることばとして最も適当なものを次から選び、記号を○で囲め。

ア　誇大妄想　　イ　支離滅裂　　ウ　論理矛盾

問３　［　］Ⅲに入ることばとして最も適当なものを次から選び、記号を○で囲め。

ア　長音化　　イ　促音化　　ウ　音便化

問４　――線部①について、「そうではない」とすれば、「シーン」は元々は何だったと筆者は考えているか。文中のことばを使って簡潔に答えよ。

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 〕

【解答】

問１　絶

問２　ウ

問３　ア

問４（例）静けさを表す「深」